令和2年度(2020年度)行政評価シート【個表】

		_				ተነ የሀ		<u>+</u>	0)	7	17	Ц
評価対	象事業			評価者	市民健康課長			菊池	隆			
健福-44	実施事業	健康情報システム構築・運用事業		自治事務	主管課	市民健康課						
)连1曲-44	まち・ひと・しごと			法定受託事務	関連課	保険年金課						
総合計画上の 位置付け	分野	健康福祉		施策の方針	市民の健康と	安心づくりの推進						

1 事業の目的

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

対 象	健診対象年齢に達した市民	
意 図	市民の健診データを管理するため。	受診券発送から総合判定結果までのシステムの運用により市民の健康診査のデータ管理をし、市民の健康維持に努めた。
効 果	健診受診者の結果データを整理し、市民各自の健康管理に寄与する。	

3 事業費等基礎データ

一人	データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備 考
デム	人口口	176,308人	176,436人	人口	176,608人	•各年3月31日
タ等	世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	83,058世帯	(住民基本台帳)
70	事業の対象者数			事業の対象者数		
	決算値(千円)	21,333	22,502	当初予算(千円)	25,066	
運	国県支出金	0	0	国県支出金	0	
堂	地方債	0	0	地方債	0	
営資源	その他	0	0	その他	0	
源	一般財源	21,333	22,502	一般財源	25,066	
状 況	人員配置数	0.5	0.7	人員配置数	0.7	
沈	八貝託旦奴	0.0	0.7	会計年度任用職員配置数	1.0	
	人件費(千円)	3,941	5,670	人件費(千円)	7,079	
事	総事業費(千円)	25,274	28,172	総事業費(千円)	32,145	
経業費運	市民1人当りの 経費(円)	143	160	市民1人当りの 経費(円)	182	
営	対象者1人当り の経費(円)			対象者1人当り の経費(円)		

4 評価結果 ※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

	# I IF	-1/RV -		/11	7 I II	-123 13777123	A 1 123 100 100 11	21017 2 72 72 72 770
効 率	一件	事業費に削減余地はないか	2. ない					
X) +	- IX	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統	合できない				
		事業の実施に対する市民ニーズはある	3. 変わらずにある					
妥当	性	事業の廃止・休止による市民生活への影	響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある				
		今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある					
有效	h /壮	事業の成果は得られているか	2. 成:	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である				
19 <i>2</i> /.	בו ל	事業の上位施策に向けた貢献度は大	4. 事	業の方向性	や手法も適切では	あり、大きく貢献している)	
公 平	性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	\triangle -3.	受益者が特	f定できないため	、受益者負担を求めるこ	ことができない
				△-1.	今後、市民	等との協働による	る事業実施に向けた検討	寸が必要である
協	働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施		宇体洛の提	<u>ー</u> 今のパートナー		
				協働実施済の場合のパートナー				
		□ a:事業内容を見直す ⇒	見 広大		見			
事 内容		■ b:事業内容は現状通りとする	<mark>種直</mark> 類し □ 縮小	\ \ \ \	<mark>内直</mark> タレ			
方向		□ c:事業を休止又は廃止する	<mark>の</mark> ロ その	他	O O			
		□ d:他事業と統合し、本事業は廃止	:する =	⇒				事業へ統合
予.	首	□ A:予算規模を拡大する	事業内容•予	対象国	重業に 上り保	哈 年全課レ費田	按分しているため 対象	ま者の堆移に上り 多小の
規模	り	■ B:予算規模は現状維持とする	算規模の方向	予算額の変動が見込まれるが、健康づくりについて有効なシステム構築である。				
方向]性	□ C:予算規模を縮小する	性設定の理由					
総記	平							
(評估	#1-	市民向けの健診案内等をシステムを用	なり st	5117万人の5	せ象者へ正確に	勧将を行らわり 母診 率	の向上に客与! ていろこ	

かする 考え方、 根拠等)

·												
度)事業実施 ての課 (前年度未解	令和元年度(2019年 度)事業実施にあたっ ての課題 (前年度未解決の事項 を含む) を含む)											
た令和元	課題解決のために行っ た令和元年度 (2019年度)の取組 (2019年度)											
未解決の課題 課題とその	未解決の課題、新たな 課題とその理由 引き続き、未受診者への受診勧奨等を行い、受診率の向上に向けて取り組む。											
〇 他市比	校・ベンチ	マーク(県内外自	治体など他	自治体や民間	団体との比較	交値)					
比較事項	健診案内	の個別勧]奨の有無									
団体名	鎌倉市	ī	泰沢市	逗子市	茅ヶ崎市	海老名市	小田原市	厚木市	大和市	綾瀬市		
他市実績	0		0	Δ	0	0	0	0	0	0		
他中天根	国保・がん	い等 国保	₹・がん等	国保のみ	国保・がん等	国保・がん等	国保・がん等	国保・がん等	国保・がん等	国保・がん等		
他市比較に	当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方 地市といきであると考える。 また、個別発送するにあたり、鎌倉市の場合、対象者が年間126,000人程度になることから、効率的かつ円滑な遂行を図るため、システムで管理を行う必要がある。											
◎ 事業実施	施に係る打	旨標										
指標の内容							単位		票の一	備考		
当該指標	を設定した	理由	年次	H26 (2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01 (2019)			
			目標値									
			実績値									
			達成率									
指標の推移し	当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											